

京都新祝祭管弦楽団

Kyoto New Festival Orchestra

第6回特別演奏会

The 6th special concert



指揮 湯浅 篤史

～ブラームスはお好き？～

J.ブラームス

ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調

Konzert für Klavier und Orchester Nr.2 B-dur, op.83

交響曲 第1番 ハ短調 作品68

Sinfonie Nr.1 in c-moll op.68

ゲストコンサートマスター 杉江 洋子



©Ayane Shindo

ピアノ 山下 彩恵

2026.12.20 日

14:00開演 (13:15開場)

京都府立府民ホール アルティ

京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1
京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅より徒歩5分 (TEL 075-441-1414)

前売 ¥2,500 / 当日 ¥3,000 (全席自由)

チケット取扱

京都府立府民ホールアルティ ☎075-441-1414(窓口販売のみ)
・チケットぴあ[Pコード 334319] ☎0570-02-9999
(セブン-イレブン、ファミリーマートで購入可能)
・十字屋三条本店APEX ☎075-254-3750
・ドルチェ楽器大阪本社 ☎06-6377-1117
・VIRTUOSO VIOLINS ☎075-754-8496
・アメリカヤ楽器店 ☎075-441-2341
・Dufam(デュファム) ☎06-6479-1655



電子チケット

コードの読み取りだけで入場できる、便利なチケットです。
QRコードから手数料無料で購入できます。ぜひご利用ください。
* 未就学児の入場はご遠慮ください。

主催：京都新祝祭管弦楽団



Music Fusion in Kyoto音楽祭連携事業

特別協賛：三洲電線株式会社/株式会社マイティワイン

協力：株式会社十字屋 三条本店APEX/株式会社ドルチェ楽器

お問合せ kyoto.shinsyukusai@gmail.com(京都新祝祭管弦楽団)

PROFILE

湯浅 篤史 指揮

Atsushi Yuasa

京都市立堀川高等学校音楽科、京都市立芸術大学でヴァイオリンを専攻した後に、東京音楽大学でトロンボーンを専攻し卒業。大学在学中よりNHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など在京のオーケストラをはじめ、全国各地の楽団に客演しプロ奏者としてのキャリアをスタートさせた。1989年の楽団創設時より11年にわたりオーケストラアンサンブル金沢（故岩城宏之音楽監督）の常任客員奏者として演奏活動に従事し数多くのコンサートやレコーディングに参加した。1998年～99年米国シカゴに留学、シカゴ交響楽団のメンバーより多くを学び帰国後指揮活動を開始する。2006年、京都祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ベートーヴェンの交響曲全曲演奏を完結させる他、国内外で活躍する一線級のソリストとの共演を重ねる。2012年、京都祝祭管弦楽団音楽監督を辞任、京都新祝祭管弦楽団の創設に参加し音楽監督に就任。ブラームスの交響曲、協奏曲の連続演奏を完結させたほか、東日本大震災復興支援演奏会を数多く指揮し継続中である。オーケストラ、アンサンブルなどの編曲作品は多岐にわたり400曲を超え、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団プラスアンサンブルなど、世界中の演奏家によりコンサートに取り上げられている。00年「湯浅篤史の個展」を開催、好評を博す。第26回京都芸術祭京都新聞社賞、第35回京都芸術祭京都府知事賞受賞。京都新祝祭管弦楽団音楽監督、名古屋プラスアンサンブル音楽監督、関西トロンボーン協会副会長、京都芸術祭音楽部門副実行委員長、Music Fusion in Kyoto音楽祭教育プログラムディレクターの他、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師、兵庫県立西宮高等学校音楽科特別非常勤講師を務め、多くの後進の指導にあたっている。



山下 彩恵 ピアノ

Sae Yamashita

京都市立京都堀川音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学大学院修了。

第1回スタインウェイ・コンクール in Japan全国大会第1位。第68、70回全日本学生音楽コンクール大阪大会第2位。

第26回日本クラシック音楽コンクール最高位。

京都芸術祭音楽部門において、第30回亀岡市長賞、第38回京都府知事賞、第39回京都芸術祭賞を受賞。

一般社団法人京一商西京同窓会奨学生。2023年度、一般財団法人福島育英会奨学生。同財団短期留学助成を受け渡米。宗次エンジェル基金/公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度2025年度奨学生。

筒井由子、田中美鈴、故福井尚子、岡部悦子、青柳晋、本村久子、サラ・デヴィス・ビュクナーの各氏に師事。フォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。東京、名古屋、京都、大阪での定期的なリサイタル開催をはじめ、京都新祝祭管弦楽団との共演などソリストとしての活動のほか、ヴァイオリストのヴラディミール・プラチ氏との共演をはじめとする室内楽においても活動している。ムジカA国際音楽協会会員。



©Ayane Shindo

京都新祝祭管弦楽団

Kyoto New Festival Orchestra

2012年、プロ奏者、アマチュア奏者、音楽を学ぶ学生らを中心に、京都に所縁のあるメンバーによる混成のオーケストラとして創設された。創立時より湯浅篤史が音楽監督を務める。若いメンバーがプロオーケストラのベテラン奏者よりオーケストラのノウハウを多角的に学び、同じステージで実践していくというアカデミックなスタイルを基本に、オーソドックスな作品から様々な演奏スタイルを習得し、スタンダードなレパートリーを着実に広げている。自主公演においてはブラームスの交響曲と協奏曲をツィクルスとして連続演奏し完結させた他に、東日本大震災の被災者のための復興支援演奏会を継続して開催してきた。2019年、初の海外公演をブラハ市にて開催し、復興支援のための委嘱作品「鏡廬」～独奏トランペットを伴うオーケストラのための～（2018）（作曲：十河陽一、トランペット：北村源三）を国外初演した。また2024年開催の第9回定期演奏会において「天華地鳴」～オーケストラとKOBUDO-古武道-のためのトリプルコンチェルト～（作曲：十河陽一、京都新祝祭管弦楽団委嘱作品）を初演し注目を集めた。世代や立場を超えてオーケストラを愛するメンバーが集い、日本を代表する古都京都より発信する音楽のメッセージは多くの人々から注目されている。第37回京都芸術祭音楽部門京都府知事賞受賞。

